

嘉麻市協働のまちづくりシンポジウム実施報告

～開催の趣旨

平成18年3月に嘉麻市が誕生し、平成20年4月より「嘉麻市市民提案型補助事業」を開始しました。本事業の趣旨は、地域のボランティア団体が行う公益的な事業に対し、市が事業費の一部を交付するというものです。

このような地域ボランティアの活躍は、旧市町村から継続的になされてきましたが、この市民提案型事業のもとに開始からのべ24団体が集まり、市内の各地域において様々な活動がなされています。

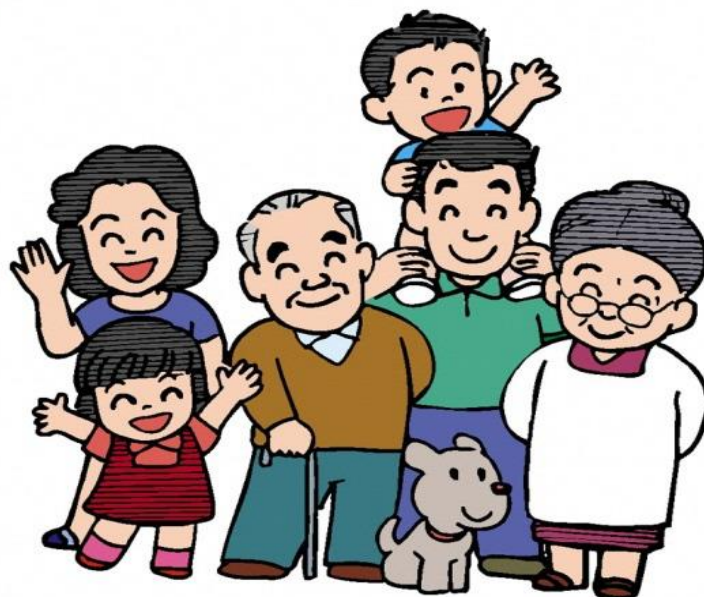
今回、シンポジウムを開催した趣旨として、一つはボランティア活動の裾野を広げること、もう一つは合併した地域間の相互認識を深めるものです。合併後より、地域の一体感の醸成の必要性が重視されてきましたが、これまで具体的な取組みもありませんでした。

そのようなことから、市民提案型事業で活躍している団体のうちから、「活動地域」と「活動分野」をもとに選別し、活動団体のうち4団体が代表となり自らが実践する地域活動の報告を行いました。

また、記念講演には、東日本大震災で被災された、NPO法人「森は海の恋人」副理事長の畠山 信氏を招き、地域活動の取り組みを紹介していただきました。

「森は海の恋人」の活動は、宮城県気仙沼で牡蠣の養殖経営を営む中で、海の環境を守るには、山の自然環境が密接に関連しているという理論のもと、山の森林保全を実践しています。

はじめよう あなたのまちづくり



☆事例発表した団体紹介

(1) 琴平グリーンクラブ ～碓井地区環境美化事業

【事例1】環境啓発を中心とした事業

山田消防署碓井派出所付近の公道沿いを中心に環境美化活動を実施。事業箇所は桂川町と本市の境でもあり、嘉麻市玄関口における環境整備にも貢献しています。以前は、通行者や車からのポイ捨てが目立ちましたが、活動を始めてから通行者の環境意識も良くなったと鹿田則光代表は感じています。また、昨年度から織田廣喜美術館周辺の環境美化にも取組み活動範囲を広めています。



琴平グリーンクラブの説明模様

(2) 熊ヶ畑線路跡地美化の会

～旧上山田線路跡地フラワーロード事業

【事例2】環境美化と地域イベントが連携した事業

熊ヶ畑地区は旧上山田線の廃線を利用し、毎年10月トロッコフェスタを開催しています。当日は、多くの親子連れを中心に秋のイベントを楽しんでいます。

本事業は、平嶋紀代子代表を中心とした地域の有志で、沿線をコスモスで一杯にし、来客の方に楽しんでもらうトロッコフェスタと連携した環境美化事業です。



熊ヶ畑地区の特徴

- 旧山田の最上部に位置
- 三方を山に囲まれた農村地域
- 旧山田の面積1/2を占めた広域な地域

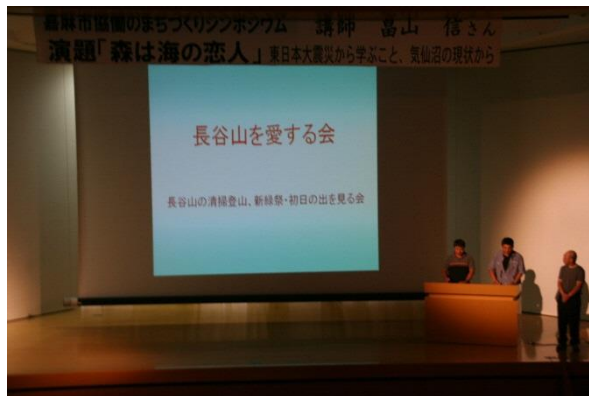
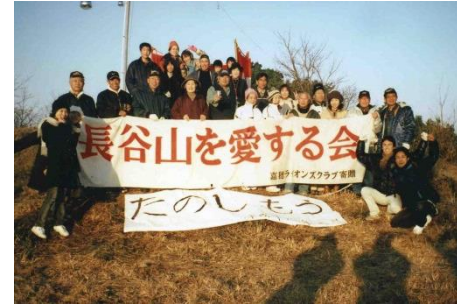
熊ヶ畑線路跡美化の会の説明模様

(3) 長谷山を愛する会 ～長谷山の清掃登山、新緑祭・初日の出を見る会

【事例3】コミュニティ、イベント、環境美化が連携した事業

本団体は、畠間堅代表を中心とする、長谷山を愛するメンバーで構成された組織です。春の新緑祭及び初日の出参拝など、長谷山におけるイベントを通じたコミュニティが形成されています。

また、子どもたちの遠足や一般登山者にも安全に利用してもらうため、日頃から環境整備にも重点を置いています。



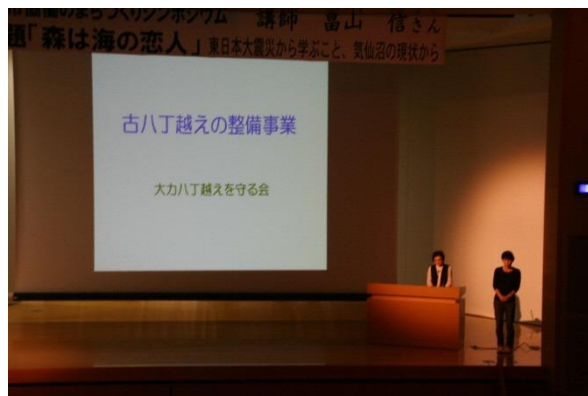
長谷山を愛する会の説明模様

(4) 大カ八丁越を守る会 ～古八丁越えの整備事業

【事例4】地域の歴史・文化の保全事業



八丁越えは江戸時代に街道として利用され、現在も史跡として残っています。本事業は伏貫久司代表を中心とした大カ地区のメンバーで構成、嘉麻市の歴史・文化を広く知ってもらう取組みが進められています。これまで、来訪者向けの休憩所の整備や街道の補修、案内板の設置などの環境整備を実施、また、八丁越石畳204mは嘉麻市史跡の認定を受けました。



大カ八丁越えを守る会の説明模様